

## 【第 137 回対策本部会議】 7月7日

健康福祉部長／感染者数は先週から、前週の同じ曜日の2倍近くになり、昨日と昨日は2倍を超えた。本日は、過去最多の694人。

感染者増加に伴い、保健所から感染者への連絡に時間がかかっている。速やかに適切な療養につなげるため、疫学調査の聞き取り項目の重点化を図る。

全国的な感染者の増加は、BA.5への置き換わりが原因の1つと考えられる。九州各県も、佐賀県と熊本県が先行しながら、他県も増加している。

年代別では、20代以下が5割、40代以下が8割、高齢者は1割未満、これまでと同じ傾向。ただ、全体の感染者数が増えると高齢者の感染者数も増加する。今後、病床使用率も若干上昇すると思われる。

入院者数は124人、病床使用率は21.7%、うち中等症者は25人、中等症者用病床使用率が4.4%、重症者はいない。ホテル療養者205人、ホテル使用率は33.3%、自宅療養者が2,758人。

県民の皆様には、高齢者と接する場合、十分な感染防止対策をお願いする。

最近の感染事例から、換気対策について。

エアコン使用時の換気が不十分なことが、感染の原因になっている。例えば、子どもの社会体育や部活動の送迎車、高齢者施設の送迎バス、学校の教室や職場。

車内では、エアコンのモードを「外気導入」にし、風量を最大の半分以上にしてエアコンを使用する。また、窓の常時開放が難しい場合、4つの窓のうち対角線上にある窓を開けて空気の流れをつくる。

室内では、30分に1回、5分程度の定期的な換気をお願いする。

南里副知事／新規感染者が500人を超えたときの病床使用率をみると、BA.1が40%弱。BA.2では30%弱。BA.5は20%前後。病床使用率をみると、抑えられていると認識しているのか。

保健福祉部長／オミクロン株は軽症、無症状が多い。現時点では、病床使用率は、BA.1やBA.2に比べると低く抑えられている。

ワクチン接種調整チームリーダー／県の大規模接種会場を好生館に開設する。日程は、17日から8月27日までの11日間。金曜日は18時～21時。土日は9時～12時。

対象者は、①60歳以上の方、②18歳以上で基礎疾患を有し通院等をしている方や重症化リスクが高いと医師が認める方。

①への接種券は、3回目接種から5ヵ月以上経過した人へ市町から発送する。

②は、市町で対応が異なる。各市町からの案内を確認してほしい。

また、好生館では3回目接種も行う。未接種の人は、接種の検討をお願いする。

接種は、事前予約が必要。この会議終了後、WEBまたは電話で予約を開始する。好生館では予約の受け付けはしない。

南里副知事／土日は、日曜日が17日だけで、ほかは土曜日。時間は、いずれも9時～12時。

知事／本日の陽性者数は694人と、過去最高の数字になり、4月19日の680人を79日ぶりに更新した。最近は、前週の2倍以上で推移しており、今後も増える見通し。

今年1月からオミクロン株になり、非常に感染力が強く、多くの感染者を生じさせた。アルファ株やデルタ株は、数は少ないが重症化リスクが高い。そのため、病床使用率が、令和3年8月に過去最高の65.5%になった。

オミクロン株では、20代以下が半数で、70代以上の感染者数は1割。しかし、70代以上の感染者の3割が入院する。そのため高齢者への波及を懸念している。

現在の病床使用率は21.7%で、過去最高の3分の1程度。全国的に感染者数が増えているが、病床使用率は本県と同様、抑えられているようだ。

重症化率が低いのは、高齢者へのワクチン接種の効果とも考えられる。ワクチン接種が予防につながるデータはないが、重症化を防ぐ効果はある。そのためにも、4回目接種をお願いしたい。

このグラフは、今年1月以降の陽性者数の推移。BA.1、BA.2、BA.5と置き換わってきた。BA.1とBA.2は、亜種確認後40日ほどでピークになり、減少に転じるとデータから読み取れる。理由は不明だが、今回も同じ推移をたどるとすると、感染のピークは7月20日、陽性者数は1,000人/日、病床使用率54%と推計した。

この値以上になると、県民の皆さんとともに新たな対策に乗り出さなければならない。

このグラフは、6月30日にあった国のアドバイザリーボードでのデータ。人口1,000人あたりの休日、夜間、時間外に受診したのべ患者数。一番多いのが佐賀県。佐賀県は、かかりつけ医に受診しやすい環境にあり、オミクロン株のような症状では、人数が高め

に出る傾向があるのだろう。

今後、予想値のデータどおりに推移するかどうか判断基準になる。予想値より病床使用率が上回る場合、警戒レベルを引き上げ、対策を呼びかける。この件に関しては適宜、情報提供していく。

現在、幼稚園、保育園、小学校での感染が非常に多い。感染力が強いため、一緒にいると致し方ない面がある。換気や発熱時は外出を控えるなど、できる対策を徹底することで、予想値の範囲内に収まるのではないかな。

引き続き、医療環境を守るため、感染状況の分析、把握を行い、対応してく。

改めて、医療従事者をはじめ介護、福祉、保育所、教育現場の皆さん方の取り組みに、心から感謝申し上げます。佐賀県は慈しみの県、誹謗中傷などは決して行わないようお願いする。

県民の皆様には、状況や分析結果など適宜、発信する。引き続き、感染対策をお願いする。